

# 九州

九州支社

〒812-0011  
福岡市博多区博多駅前  
3-9-1 大賀博多駅前ビル  
電話 092-471-6118  
FAX 092-471-6119

kyushu  
@kensetsunews.com

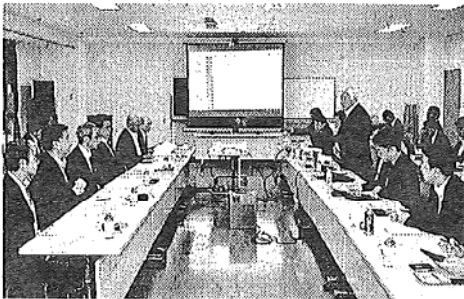
## 総合評価拡大に前向き

### 条件明示シートの指針策定

#### 建コン協、鹿児島県が意見交換

建設コンサルタンツ協会九州支部（田中清支部長）が毎年実施している九州沖縄8県3政令市との意見交換会が、10月31日の鹿児島県を皮切りに始まった。同支部が鹿児島県に要望した総合評価方式の対象業務の拡大について前向きな回答を得た。同支部から田中支部長ら幹部、鹿児島県からは木佐貫浄治土木部長らが出席した。

今年には▽担い手の確保・育成のための環境整備▽技術力による選定▽品質の確保・向上▽災害対応に向けた環境整備▽インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進の環境整備―の共通5項目に各自自治体への個別要望を加えた意見交換と評価方式について「今後さら



に対象業務を拡大してもらいたい」と述べた。総合評価方式について、県は設計額1000万円以上の道路詳細設計を対象に試行している。河川関係業務などに対象拡大を求める同支部に対して、県は「前向きに検討する」と回答した。

設計条件明示チェックシートの活用について、県は今年3月に「条件明示チェックシート活用ガイドライン」を策定し、24年度から運用を始めた。詳細設計業務の発注時に受注者に履行に必要な設計条件などを明示できているかを

確認する道具として活用している。業務環境の改善に向けて継続要望したウイークリースタンスの実施では、同支部県部会会員が24年度に受注した業務90件のうち特記仕様書に記載がある業務は40件にとどまった。全業務での実施を求め、県は「周知徹底する。記載がない場合は出先事務所建設部長に相談してほしい」と回答した。

企業や技術者の技術力向上などを目的に表彰件数の拡大を求めた優良業務表彰について、県は「表彰が総合評価の

加点評価につながる現行制度で一概に増やすことは難しい」とした一方で、モチベーションアップの観点から「個人表彰の創設は考えている」と前向きに回答した。